

平成28年第2回臨時会

歌志内市議会会議録

第1日目（平成28年3月29日）

---

（午前9時57分 開会）

開会・開議宣告

○議長（川野敏夫君） おはようございます。

ただいまから、平成28年歌志内市議会第2回臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は6名であります。定足数を満たしておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（川野敏夫君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第84条の規定により、会議録署名議員に1番湯浅礼子さん、7番女鹿聡さんを指名いたします。

会期の決定

○議長（川野敏夫君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

この臨時会は、本日1日間とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議ありませんので、そのように決定いたしました。

諸般報告

○議長（川野敏夫君） 日程第3 諸般報告であります。

事務局長に報告させます。

阿部議会事務局長。

○議会事務局長（阿部幸雄君） 報告いたします。

この臨時会に付議されます議案は、市長より送付を受けた議案1件であります。

次に、議長の報告でございますが、平成28年第1回定例会以降、昨日までの議会動向につきましては、本日別紙配付しております諸般報告のとおりでありますので、御了承願います。

また、本会議に説明のため出席する者、本会議の事務に従事する者等につきましては、別記記載のとおりであります。

本日の議事日程については、別紙配付してあります議事日程表のとおりであります。  
次に、議員の出欠席の状況であります。本日は6名の出席であります。  
本日欠席されますのは、田村議員、山崎議員であります。  
以上で報告を終わります。

○議長（川野敏夫君） 特段の発言はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） ないようですので、諸般報告を終わります。

### 議案第33号

○議長（川野敏夫君） 日程第4 議案第33号平成27年度歌志内市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

岩崎副市長。

○副市長（岩崎雄逸君） ー登壇ー

おはようございます。

議案第33号の一般会計補正予算につきまして、御提案申し上げます。

議案第33号平成27年度歌志内市一般会計補正予算（第8号）。

平成27年度歌志内市一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億5,105万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ46億9,024万円とする。

2項は省略いたします。

（繰越明許費の補正）

第2条、繰越明許費の追加は、「第2表 繰越明許費補正」による。

3ページをお開き願います。

第2表、繰越明許費補正。

追加。

2款総務費1項総務管理費、事業名、地方創生加速化事業、金額、176万9,000円。

これは、国の平成27年度補正予算で措置された一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策において、特に緊急対応として位置づけられた地方創生加速化交付金を活用して実施する事業であります。

事業の内容につきましては、5市5町で構成する中空知定住自立圏で取り組む広域連携事業として、圏域における多様で充実した暮らしや仕事に関する情報や魅力を知ってもらうための情報発信を行い、都市部からの有能な人材獲得や地元定着により人材不足解消を図るため、仕事の魅力発信と総合的な就業・移住支援を行うもので、年度内での完了が見込めないことから、平成27年度予算の繰り越し事業として繰越明許するものであります。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳出について御説明いたしますので、6ページをお開き願います。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理費25節積立金、1億5,000万円の増額補正は、特別交付税及び地方消費税の増額補正相当額を減債基金に積み立てるものであります。

これに伴い、平成27年度末の減債基金の現在高は、2億円となります。

次に、12目定住促進費13節委託料、176万9,000円の増額補正は、繰越明許費の追加補正で説明しました地方創生加速化事業に係る経費で、就業・移住プロモーション制作委託料であります。

15款1項1目とも予備費、71万3,000円の減額補正は、歳入歳出予算の調整によるものであります。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳入を御説明いたしますので、4ページをお開き願います。

6款1項1目1節とも地方消費税交付金、604万6,000円の増額補正は、交付額決定による増であります。

9款1項1目1節とも地方交付税、1億4,324万1,000円の増額補正は、特別交付税が1億4,324万円の増、震災復興特別交付税が1,000円の皆増であります。

13款国庫支出金2項国庫補助金1目総務費補助金6節地方創生加速化交付金、176万9,000円の増額補正は、仕事の魅力発信と総合的な就業・移住支援事業に係る地方創生加速化交付金の皆増であります。

以上で、議案第33号の一般会計補正予算の事項別明細書を含めましての説明を終わりますので、よろしく願いいたします。

○議長（川野敏夫君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

下山則義さん。

○4番（下山則義君） 2点について、ちょっと質疑したいと思います。

減債基金ということで、これは全て起債の償還に当たるものだと思うのですが、2億円という金額、これからの、今ある返さなければならぬ金額だけのものなのかということをお答えいただければと思います。

あと、委託料なのですが、就業、そして移住のためのプロモーション、それらを宣伝する、PRするためのものというふう認識するのですが、先日、歌志内市の魅力発信プロモーションビデオというものができ上がったのですという内容の話を耳にしたのですが、それらとは全く別なもので、何か移住のため、あるいは就業を喚起するような、そのためだけの宣伝効果のあるものなのかということ、その2点につきましてお答えいただければと思います。

○議長（川野敏夫君） 松井財政課長。

○財政課長（松井敬道君） 減債基金につきましては、市債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる市財政の健全運営に資するために設置されておまして、そのことから、地方債の償還に充てる経費となっております。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） 2点目の委託料の関係でございます。

これにつきましては、先ほど言われました魅力発信プロモーションというのは、歌志内の観光の宣伝のための部分のものでございまして、今回、中空知定住自立圏で行うものにつきましては、まず、共通の課題の部分で、一つには、今は雇用の機会があっても働き手が不足する雇用のミスマッチというものが各市町で見られておまして、その辺の人材不足、この辺が深刻な状況となっているのが1点ございます。

もう1点につきましては、中空知、それぞれ5市5町ございますが、基本的にはやっぱり都市圏での知名度が低いというものがございまして、それで、単独の市町だけでいろいろな宣伝をやっても、なかなか人を呼び込むことが難しいというものがございまして、また、それに伴い

まして進学、就職に伴う人口流出が続いているのが現状でございます。

これに対応いたしまして、まず、仕事に関する情報、こういった魅力を知ってもらうための情報発信を行うということがございます。これによりまして、定住自立圏圏外からの、都市部からの有能な人材獲得や地元の定着によって、仕事に対しての人材不足の解消を図りたいというのが1点でございます。もう一つにつきましては、それにプラス暮らしの選択肢、これを与えるために、各市町それぞれが持っております魅力、これを発信しまして、その方が来て、まちで暮らして、いろいろなライフスタイルが組めるというものの選択肢、こういうものをあわせ持ちまして、最終的にはこの圏域の中に就業、移住の促進を図るための部分で宣伝していくというのがこの事業の内容でございます。

○議長（川野敏夫君） 下山則義さん。

○4番（下山則義君） 1点目につきましては理解できました。

2点目なのですが、5市5町というところから、前の考えのもとに、総活躍ですか、そこから出てきているものということで、歌志内だけに限らず中空知全体をPRする。それに伴って、歌志内の魅力も発信すると同時に、歌志内市に外からの人たちを呼び込む、あるいは仕事の喚起につなげていく、そのようなことというふうなものの、魅力を発信するための宣伝効果のあるものというふうに理解するのですが、ちなみに、そうすることによって、我がまち歌志内ということではちょっと考えますと、どれだけの効果があるのかなということもちょっと、考えながらの、計画しながらの行動になるのかと思うのですが、その辺、事歌志内市に対しては、ちょっとそういうふうに聞いてしまうと、中空知全体を考えた場合にはどうなのかなと思うのですが、やはり歌志内の市議会議員としては、事歌志内に対してということはどうしても知りたくなるのですが、その辺はどのようなお考えのもとにこれを行うのか、答弁いただければと思います。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） 先ほど申し上げました圏域の共通課題ということで、雇用のミスマッチという部分があっての人材不足というもの、これにつきましては、歌志内にも現在ありますので、そういった歌志内にもございます、先駆性を兼ねた製造業というものもございますし、うちの場合でいきますと、福祉施設というものもございます。そこにはやはり人材不足というものは、ほかのところもそうですけれども、歌志内にもあるといったものを、こういったPRをして圏域外から人を呼び込むという部分、これのPR、そして、先ほども申しました、単独でやるよりも、やっぱり複数の、いろいろなものの魅力を発信した中で歌志内を選んでいただきたいという部分も込めまして、こういった事業に参加するというところでございます。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○7番（女鹿聡君） 何点かお聞きしたいと思います。

最初の減債基金の件なのですけれども、恐らく、先ほども言われたのですけれども、今回、減債基金に積み立てをする理由と経緯を教えてくださいと思います。

あと、恐らく10年前ぐらいには3億3,000万円ぐらいの減債基金が多分あったと思うのですけれども、どのように使われたのか。先ほど地方債の償還にということで話はされたのですけれども、今回のものもそういうふうな形でどんどん使われるのかをお聞きしたいと思います。

二つ目ですけれども、プロモーションの作成委託料の件でございます。今、下山議員が質疑してくれたのですけれども、以前のプロモーション、市の活性化につなげるためのということ

でプロモーションビデオを恐らくつくっていたと思うのですけれども、そのときは産業課のほうでいろいろ取りまとめてやっていたと思うのですよね。今回は総務課のほうでやっているわけですが、これを違う課でそれぞれやっていったいいものなのかどうなのか、ちょっと不安を覚えるのですけれども、一つにまとめて行っていったほうが話が進むような気がするのですけれども、その辺どのようにお考えか、お聞きしたいと思います。

○議長（川野敏夫君） 松井財政課長。

○財政課長（松井敬道君） 減債基金の関係でございますが、まず、基金につきましては、優先的に今までは財調に積み立てをしておりました。その財調の目標といたしまして、標準財政規模相当額を目標にしておりましたが、標準財政規模は平成27年度で24億7,000万円でございますので、今回、3月補正で23億4,000万円程度の積み立てができました。そのことから、今後におきましては、将来の市債の償還に充てるため、今までは市債の償還以外にも取り崩しができまして、使い勝手のいい財政調整基金に剰余金を積み立てしておりましたが、当面の目標であります、先ほど言いました標準財政規模の積み立てが前回の補正でできましたので、今後につきましては、減債基金ということで、市債の償還に充てる基金のほうに積み立てをしていこうということでもあります。

その内容につきましては、一般会計の地方債の残高が約40億円、病院を除きました合計が約50億円程度ありますので、これらの償還に充てたいというふうに考えております。（発言する者あり）

失礼しました。

あと、10年前の減債基金をどうしたのかということでございますが、それは平成18年度に不適切な借り入れの部分の償還がありましたので、その部分に充てさせていただいております。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） まず、総務課の部分でいきますと、中空知定住自立圏、こちらの窓口といいいますか、幹事課といいいますか、そういった窓口の部分を担当しておりますので、こういった事業を申請する、計画書を出すという部分は総務課のほうでやってございますが、中身の実際やっていく部分につきましては、それぞれの所管で行いますので、女鹿議員言われた部分では、同一の部分でやって、今後の部分です、実施していく分はそういったところでやっていくということで御理解いただきたいと思っております。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

谷秀紀さん。

○5番（谷秀紀君） 肝心なことは、やはりこれは業者に委託するわけですので、業者選定の方法、これをどのようにやるのかということが1点。そして、場合によっては、業者によっては、やはり、センスがない業者、これは、ある面では、プロモーションというのは、ひもとくと宣伝なのですよね。だからやはり宣伝をやるということになれば、いろいろな業者があると思うのです。ベテランの業者もあれば、つくったけれども効果のないようなものになったとか、やはりそこで肝心な業者の選定、このことについて答弁をいただきたいと思っております。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） この件に関しましては、今、予定でございますけれども、事前に各構成市町の企画担当の課長等が集まりまして、幹事会というものがございます。そういう中で、いろいろな部分をどうしていこうかという合意を図るというのをまず第一段階でやります。

その次に、滝川市のほうに契約の事務に関する委任状を提出いたしまして、こういった事務を滝川市のほうに委任することになります。滝川市で、事前に行いました幹事会での合意内容をもとに、今の予定ではプロポーザルをやっていく予定をしております。プロポーザルを実施いたしまして、業者選定を行って、契約額の確定を行うというような流れでいく予定になっております。

○議長（川野敏夫君） 谷秀紀さん。

○5番（谷秀紀君） 今、委任をするという内容の答弁でありました。委任は委任で結構なのですが、委任するに当たって、やはり、本市としての、こういう条件を入れてくれとか、こうだとか、やはりそういうようなものは考えて、当然しかるべきだと思うのですが、その辺についてはどうなのですか。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） 今言われたことを、プロポーザルの前の、事前に、5市5町の担当課が集まりまして、こういったものにしたいというような意見の集約をしまして、そういった合意に基づいてやっていくということになります。

○議長（川野敏夫君） 谷秀紀さん。

○5番（谷秀紀君） 本市としての主なところとして、何を一つの主流にするのか、内容的に、どういうものをプロモーションにしてほしいというものが、当然、考えての話があると思うのです。それについてお聞きしておきたいと思います。

○議長（川野敏夫君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部一幸君） 先ほどちょっと重複するかもしれませんが、基本的に、今現在、市内の企業で人材不足のところ、こういったものをまず情報把握をいたしまして、そういったところに当てるような情報、各市町同じですけれども、そういった企業情報をまず全て集めるということが業務の中の一つになってございます。そういった中で歌志内市の実情を詳しくつかんでもらうというのがまず一つございまして、その辺に対するいろいろな方策を考えていただくのも一つの中身になってございます。

また、あと、インターネットという部分のサイトをつくっていく、それと情報誌をつくる、企業のPRの印刷物をつくる等、いろいろなものがございますので、その中には漏れなく歌志内の部分を載せまして、それにプラス、先ほど言った、仕事のほかに暮らしという部分、歌志内ではこういった生活ができます。仕事が終わったら、こういう施設があって、こういうものも魅力のうちの一つですといったものを重ね合わせまして、仕事と暮らし、これをあわせながら魅力発信をして、圏域全体で呼び込むのですけれども、その中でも歌志内をPRするような形にしていきたいというふうに思っております。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第33号について採決をいたします。

ただいまの議案については、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議なしと認めます。  
したがって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

## 閉 会 宣 告

○議長（川野敏夫君） 以上で、本日の日程は全部終わりました。  
これをもちまして、平成28年歌志内市議会第2回臨時会を閉会いたします。  
御苦勞さまでした。

（午前10時21分 閉会）

上記会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、  
ここに署名する。

歌志内市議会議長      川    野    敏    夫

署名議員      湯    浅    礼    子

署名議員      女    鹿            聡